

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：芸術 科目：音楽Ⅲ 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅲ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年F組

教科担当者：中島 美音

使用教科書：(Joy of Music)

使用教材：(MUSIC NOTE、ワークシート、ICT)

	指導内容	科目 音楽Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	①1年の流れについて理解させる ②評価について理解させる	プリント	6
	音楽Ⅰ、Ⅱの復習	既習内容についてICTを用いて思い出させる	態度	
	ソルフェージュ	①様々な譜表に書かれた楽譜を見て、音楽を形づくっている要素を正しく読み取って歌ったりできるようにさせる ②音楽を形づくっている要素を正しく聞き取り、それを記譜することができるようにさせる	MUSIC NOTE、態度	
	楽典の復習【反復記号、音符と休符】	音楽に関する基礎的な理論について理解させる	ワークシート、MUSIC NOTE、態度	
	歌唱『時代』	①音楽ⅠおよびⅡで習得した知識を基礎にして、より詳細に音楽の特徴を捉え、作詞者や作曲家などの意図を探りつつ、生徒自身が見いだした曲のよさや美しさなどと関連付けられるようにさせる ②これまで習得した歌唱表現を応用しながら、自分の表現意図を、歌うことによって表すことができるようにさせる	ワークシート、態度	
5月	ソルフェージュ	①様々な譜表に書かれた楽譜を見て、音楽を形づくっている要素を正しく読み取って歌ったりできるようにさせる ②音楽を形づくっている要素を正しく聞き取り、それを記譜することができるようにさせる	MUSIC NOTE、態度	4
	三味線	これまで習得してきた器楽に関する技能を応用しながら、自分の表現意図を演奏することによって表すことができるようにさせる	ワークシート、態度	
6月	文化祭に向けて ・三部斉唱 ・6手連弾	①これまで習得した歌唱技能を応用しながら、自分の表現意図を歌うことによってあらわすことができるようにさせる ②これまで習得してきた器楽に関する技能を応用しながら、自分の表現意図を楽器を演奏することによって表すことができるようにさせる	態度	10
	楽典の復習【音階と調】	音楽に関する基礎的な理論について理解させる	ワークシート、態度	
	楽典の復習【音階とコードネーム】	音楽に関する基礎的な理論について理解させる	ワークシート、態度	
7月	文化祭に向けて ・三部斉唱 ・6手連弾	①これまで習得した歌唱技能を応用しながら、自分の表現意図を歌うことによってあらわすことができるようにさせる ②これまで習得してきた器楽に関する技能を応用しながら、自分の表現意図を楽器を演奏することによって表すことができるようにさせる	態度	2
8月				
9月	文化祭に向けて ・三部斉唱 ・6手連弾	①これまで習得した歌唱技能を応用しながら、自分の表現意図を歌うことによってあらわすことができるようにさせる ②これまで習得してきた器楽に関する技能を応用しながら、自分の表現意図を楽器を演奏することによって表すことができるようにさせる	態度	6
	文化祭の振り返り	演奏を振り返り、感想の共有をさせる	感想プリント、態度	
	オペラ座の怪人について	音楽ⅠⅡで学んできた鑑賞に関わる知識を総合的に働かせながら考え、音楽の良さや美しさを深く味わって聴くことができるようにさせる	ワークシート、態度	
	歌唱『オペラ座の怪人』より ・All I Ask of You ・The Point of No Return	①音楽Ⅰ及びⅡで習得した知識を基礎にして、より詳細に音楽の特徴を捉え、作詞者や作曲家などの意図を探りつつ、生徒自身が見いだした曲のよさや美しさなどと関連付けられるようにさせる ②これまで習得した歌唱表現を応用しながら、自分の表現意図を歌うことによって表すことができるようにさせる ③英語の歌詞の意味、歌詞の発音、イントネーション、アクセントなどに注意	ワークシート、態度	

	指導内容	科目 音楽Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	歌唱『オペラ座の怪人』より ・ All I Ask of You ・ The Point of No Return 鑑賞 映画『オペラ座の怪人』 ピアノ弾き歌い 【鳩、子ぎつね、大きな栗の木の下で、どんぐりころころ】	①音楽Ⅰ及びⅡで習得した知識を基礎にして、より詳細に音楽の特徴を捉え、作詞者や作曲者などの意図を探りつつ、生徒自身が見いだした曲のよさや美しさなどと関連付けられるようにさせる ②これまで習得した歌唱表現を応用しながら、自分の表現意図を歌うことによって表すことができるようにさせる ③英語の歌詞の意味、歌詞の発音、イントネーション、アクセントなどに注意 音楽ⅠⅡで学んできた鑑賞に関わる知識を総合的に働かせながら考え、音楽の良さや美しさを一層深く味わって聴くことができるようにさせる	ワークシート、態度 ワークシート	8
11月	ピアノ弾き歌い 【とんぼのめがね、にじ】 弾き歌い実技試験に向けて 【選んだ曲を演奏する】	①これまで習得してきた器楽に関する技能を応用しながら、自分の表現意図を、楽器を演奏することによって表すことができるようにさせる ②歌唱とピアノのバランスを意識させ、どちらか片方に意識を偏らせないようにさせる ①これまで習得してきた器楽に関する技能を応用しながら、自分の表現意図を、楽器を演奏することによって表すことができるようにさせる ②歌唱とピアノのバランスを意識させ、どちらか片方に意識を偏らせないようにさせる	ワークシート、態度 ワークシート、態度	8
12月	創作 【体を使った音でストーリーを表現する】	様々な音素材のもつ魅力、時代や地域などによって生み出された様式に見られる表現上の特徴、声や楽器の組み合わせによる響きの違いなどに見られる表現形態の特徴などを、表したいイメージと関わらせて理解させる	ワークシート、態度	4
1月	創作 【体を使った音でストーリーを表現する】 映画鑑賞『ハイスクールミュージカル』	様々な音素材のもつ魅力、時代や地域などによって生み出された様式に見られる表現上の特徴、声や楽器の組み合わせによる響きの違いなどに見られる表現形態の特徴などを、表したいイメージと関わらせて理解させる 音楽ⅠⅡで学んできた鑑賞に関わる知識を総合的に働かせながら考え、音楽の良さや美しさを一層深く味わって聴くことができるようにさせる	ワークシート、態度 ワークシート、態度	4
2月				
3月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：音楽 科目：器楽 年間授業計画

教科：音楽 科目：器楽 単位数：2単位

対象学年組：第3学年F組

教科担当者：中島 美音

使用教科書：()

使用教材：(各楽譜)

	指導内容	科目 器楽 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション	①1年間の流れについて理解させる ②評価の流れについて理解させる	態度	6
	文化祭に向けての楽曲選び	①楽曲を選ぶ ②曲の正しい読み方を理解させる	態度	
	1年間の実施曲選び	①楽曲を選ぶ ②曲の正しい読み方を理解させる	態度	
	選んだ曲の練習①	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	
5 月	選んだ曲の練習①	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	5
6 月	選んだ曲の練習②	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	8
	文化祭に向けて	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	
7 月	選んだ曲の練習② 【実技試験】	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度、自己評価シート	2
	文化祭に向けて	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	
8 月				
9 月	選んだ曲の練習③	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	6
	文化祭に向けて	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	4
10 月	選んだ曲の練習③	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	4
	選んだ曲の練習④	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	2
11 月	選んだ曲の練習④ 【実技試験】	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度、自己評価シート	8
	選んだ曲の練習⑤	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	2

	指導内容	科目 器楽 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	選んだ曲の練習⑤	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	2
1 月	選んだ曲の練習⑤	①曲想、音楽の構造などについて理解させる ②互いを尊重しあい、音色のバランスや曲にふさわしい奏法、身体の使い方について考えさせる	態度	2
2 月				
3 月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：音楽 科目：声楽 年間授業計画

教科：音楽 科目：声楽 単位数：2単位

対象学年組：第3学年F組

教科担当者：中島 美音

使用教科書：（ ）

使用教材：（コールユーブンゲン、コンコーネ50番練習曲集、イタリア歌曲集）

	指導内容	科目 声楽 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	①声楽の定義について理解させる ②1年間流れについて理解させる ③評価の仕方について理解させる	態度	6
	文化祭に向けての楽曲選び	①楽曲を選ばせる ②歌詞の意味について理解させる ③楽曲の背景を理解させる		
	コールユーブンゲン	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
	コンコーネ50番練習曲より第1番	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
	イタリア歌曲集より『Caro mio ben』	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
5月	コールユーブンゲン	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる	態度	6
	コンコーネ50番練習曲より第2、3番	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
	イタリア歌曲集より『Caro mio ben』『Sebben, crudele』	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
	文化祭に向けての曲 ・Circle of life ・Friend like me ・A whole new world	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
6月	コールユーブンゲン	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる	態度	6
	コンコーネ50番練習曲より第3番	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
	イタリア歌曲集より『Sebben, crudele』	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
	文化祭に向けての曲 ・Circle of life ・Friend like me ・A whole new world	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		

	指導内容	科目 声楽 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	<p>コールユーブンゲン</p> <p>コンコーネ50番練習曲より第4番</p> <p>イタリア歌曲集より『Sento nel core』</p> <p>文化祭に向けての曲 ・Circle of life ・Friend like me ・A whole new world</p>	<p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p>	態度	4
8月				
9月	<p>コールユーブンゲン</p> <p>コンコーネ50番練習曲より第5. 6. 7番</p> <p>イタリア歌曲集より『Sento nel core』『Caro laccio』</p> <p>文化祭に向けての曲 ・Circle of life ・Friend like me ・A whole new world</p>	<p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p>	態度	6
10月	<p>コールユーブンゲン</p> <p>コンコーネ50番練習曲より第7. 8. 9番</p> <p>イタリア歌曲集より『Se tu m'ami』『Vergin, tutto amor』</p>	<p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p>	態度	8
11月	<p>コールユーブンゲン</p> <p>コンコーネ50番練習曲より第9. 10. 11番</p> <p>イタリア歌曲集より『Se tu m'ami』『Lasciar d'amarti』</p>	<p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p> <p>①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる</p>	態度	8

	指導内容	科目 声楽 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	コールユーブンゲン	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる	態度	4
	コンコーネ50番練習曲より第1 1. 1 2 番 イタリア歌曲集より 『Se tu m'ami』 『Lasciar d'amarti』	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる ①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②歌詞の内容や言葉のもつ語感について考えたり、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように歌うかについて考えさせる ③様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、自分の声種や声の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる		
1 月	コールユーブンゲン	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる	態度	4
	コンコーネ50番練習曲より第1 3 番 今までの既習曲を選んで	①曲にふさわしい発声、身体の使い方を理解させる ②自分の声種の特徴などを生かし、音楽性豊かな歌唱表現を生み出させる 4月から学んだ曲から1曲選択して発表させる		
2 月				
3 月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 年間授業計画

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年NK組

教科担当者：石田 太陽

使用教科書：(Revised COMET English CommunicationⅡ (数研出版))

使用教材：(コーパス3000 (東京書籍))

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅱ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson 11 Win for Our Nation	・ Warming Upの活動を通して、スポーツについて理解して、発言したり、しっかり聴こうとする姿勢を養う。	関心・理解 表現・知識	2
		【Part 1】 マンデラとピナールの出会いの理由を理解できる。	ワークシート 発言・テスト	2
		・ 【Part 1】 の内容を簡潔にまとめて話すことができる。 ・ 【Part 1】 の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。		2
5月	Lesson 11 Win for Our Nation	Warming Upの活動を通して、スプリングボックスについて理解して、発言したり、しっかり聴こうとする姿勢を養う。	関心・理解 表現・知識	2
		【Part 2】 スプリングボックスについての背景を理解し異文化理解の姿勢を身につける。	ワークシート 発言・テスト	2
		【Part 2】 南アフリカの人々の、スプリングボックスについての見解がどのようなものかを理解できる。 ・ 【Part 2】 の内容を簡潔にまとめて話すことができる。 ・ 【Part 2】 の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。		2
6月	Lesson 11 Win for Our Nation	Warming Upの活動を通して、ワールドカップについて理解して、発言したり、しっかり聴こうとする姿勢を養う。	関心・理解 表現・知識	2
		【Part 3】 ワールドカップにおけるスプリングボックスの役割を理解することができる。	ワークシート 発言・テスト	2
		【Part 3】 ワールドカップにおける南アフリカの人々の価値観の変化を理解することができる。 ・ 【Part 3】 の内容を簡潔にまとめて話すことができる。 ・ 【Part 3】 の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。		4
7月	期末考査			2
8月				
9月	1学期の復習	1学期の復習、自己表現活動	関心・理解 表現・知識	2
	Lesson 11 Win for Our Nation	Lesson11の本文内の知覚動詞について理解することができる。	ワークシート 発言・テスト	2
	Lesson 11 Win for Our Nation	知覚動詞を使用した表現を理解することができる。		2
	Lesson 11 Win for Our Nation	知覚動詞を使用して自分が言いたいことを相手に伝えることができる。		2

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅱ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	Lesson 12 From Small Factories to the World	Warming Upの活動を通して、医療関係について理解して、発言したり、しっかり聴こうとする姿勢を養う。	関心・理解 表現・知識	2
		【Part 1】千葉の工場が開発された製品について、どのような点が優れているかを理解できる。	ワークシート 発言・テスト	2
		日本の高度な工業技術について学び、自分の意見をまとめることができる。		2
		新しい開発について創造的に考え、自分の意見をまとめることができる。		2
11月	Lesson 12 From Small Factories to the World	Warming Upの活動を通して、工場で作られている部品の名称やそれらが使われている建設物について理解して、発言したり、しっかり聴こうとする姿勢を養う。	関心・理解 表現・知識	2
		【Part 2】大阪の工場が開発された製品について、どのような点が優れているかを理解できる。	ワークシート 発言・テスト	2
		日本の技術について考え、自分の意見をまとめることができる。		2
		新しい製品について創造的に考え、自分の意見をまとめることができる。		2
12月	Lesson 12 From Small Factories to the World 期末考査	【Part 1,2】に関連して理解することができ、また、自分の意見をまとめて発表することができる。	関心・理解 表現・知識	2
			ワークシート 発言・テスト	2
1月	Lesson 12 From Small Factories to the World	Warming Upの活動を通して、仮定法について理解して、発言したり、しっかり聴こうとする姿勢を養う。	関心・理解 表現・知識	2
		仮定法を使用した表現を理解することができる。	ワークシート 発言・テスト	4
		仮定法を使用した表現を理解し使うことができる。		
2月	Challenge 2 Let's Make English Haiku! 総復習	松尾芭蕉の俳句と、俳句の作り方を英語で理解することができる。	関心・理解 表現・知識	2
		俳句の形式で自分が表現したい風景や気持ちを英語で表すことができる。	ワークシート 発言・テスト	2
		2011年3月11日に東日本を襲った大地震後の混乱の中、復興に向けて高校生が行った復興活動の手記について理解することができる。		2
		2011年3月11日に東日本を襲った大地震後の混乱の中、復興に向けて高校生が行った復興活動の手記の内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。		2
		1年間の総復習、自己表現活動		2
3月				

様式

三宅高等学校 令和5年度 教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 年間授業計画

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 単位数：4単位

対象学年組：第3学年F組

教科担当者：小林理聖

使用教科書：(New Flag English CommunicationⅢ (増進堂))

使用教材：(New Flag English CommunicationⅢワークブック (増進堂)、コーパス3000 (東京書籍))

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Introduction	・1年間の授業の進め方を理解させる。 ・英語で自己紹介をし、互いのことを英語で紹介できるようになる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	1
	Skill1-3	・英文を読むうえで大切なスキルを学び、今後の英語学習に活かすことができるよう問題演習を通して確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	5
	Chapter1 part 1: Steve and Ryoma	・「革新者」の定義について理解させ、またそこにはどんな要素が必要なのかを考えさせる。 ・スティーブ・ジョブズの成功と困難を紹介することで、「革新者」たるには「信念を持ち続けること」が必要であると理解させる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter1 part 2: Steve and Ryoma	・同様に坂本龍馬の考え方、生き方を紹介することで「信念」がやはりキーワードであることを理解させる。 ・二人の「革新者」に共通であるのが「信念を持ち続けること」であり、このことを理解し、また学習者自身にも生きる上で「信念」が大切であることを考えさせる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
5月	Chapter1 まとめ	・Chapter1の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
	Chapter2 part 1: Uluru, Not Ayers Rock	・世界遺産であるウルルについての詳細と白人による開発の歴史や、ウルル周辺に住み続けてきたアナンク族のウルルに対する認識を理解する。 ・ウルルの別名「エアーズロック」がどのような経緯でつけられたのかを理解する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter2 part 2: Uluru, Not Ayers Rock	・ウルルの観光地化、保護化の変遷を理解することで、開発と保護の両立、の意義を理解する。 ・アナンク族は観光客に何を望んでいるのか、その希望は尊重されているのかを読み取る。 ・観光地の開発には地元の民族との問題が起こりうることを理解する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter2 まとめ	・Chapter2の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
6月	Chapter3 part 1: Community Design	・コミュニティデザインという言葉の意味や、具体的な内容、家島での取り組みの経緯を理解する。 ・コミュニティデザインの指導者である山崎亮氏とそのメンバーはどのような形で家島の人々と関わったかを理解する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter3 part 2: Community Design	・家島の魅力を家島プロジェクトのメンバーがどのように発信していったか、家島の魅力をどのような手段で外部に発信していったかを理解する。 ・プロジェクトが進み、島民たち自身でどういった取り組みをしていったかをしっかりと押さえる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter3 まとめ	・Chapter3の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
	Chapter4 part 1: The Life of Murasaki Shikibu ・Chapter4 part 2: The Life of Murasaki Shikibu ・Chapter4 まとめ	・『源氏物語』の作者である紫式部の出生と幼少のころについて理解する。 ・夫との死別後書き始めた『源氏物語』が、宮廷内で争う貴族たちの観察を元に書かれたものであることを知る。 ・文才を隠しつつ書き続けた『源氏物語』が、貴族社会での愛と嫉妬をテーマにし、作者自らの人生と感情を詰め込んだものであることを理解する。 ・Chapter4の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4 6
7月	1学期の復習	1学期の復習	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
8月				
9月	Chapter5 part 1: Microfinance	・マイクロファイナンスが貧困者向けの「小口 (マイクロ) 金融 (ファイナンス)」の総称であり、貧困者に基本的な金融サービスを与えることがその背景にあることを理解させる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	5
	Chapter5 part 2: Microfinance	・マイクロファイナンスの金融サービスは、少額ローンや利息を生む預金口座の開設、保険への加入などであり、グループへのサービスも可能であることを理解させる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter5 まとめ	・Chapter5の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
	Chapter7 part 1: The Air Powered Car	・自動車の燃料としてガソリンの代わりに「空気」を使用した「空気自動車」があることを知る。 ・空気自動車の開発から実現までの経緯を知る。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	Chapter7 part 2 : The Air Powered Car	・ 空気自動車の外観・内装と利点について知る。 ・ 空気自動車の走行性能や排気・燃料である圧縮空気についての概要を知る。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter7 part 3 : The Air Powered Car	・ 空気自動車の現在の開発状況と今後の展望について知り、問題点などを話し合う。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	3
	Chapter7 まとめ	・ Chapter7の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	3
	Chapter8 part 1 : Are Children the Best Learners?	・ 子どもの方が大人よりも言語の学習能力に優れていると言われていたが、本当にそうなのか検証する。 ・ 子どもと大人の言語学習方法の違いを理解する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
11月	Chapter8 part 1 : Are Children the Best Learners?	・ 子どもと同様の方法で大人が学習した場合の結果を知る。 ・ 大人の言語学習能力が決して子どもに引けを取らないことを知る。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter8 まとめ	・ Chapter8の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
	Chapter9 part 1 : Printing the Future	・ 3Dプリンターの現在の開発状況を知り、今後私たちの生活におよぼす影響について理解させる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	5
	Chapter9 part 2 : Printing the Future	・ 3Dプリンターが持つ問題について知り、その危険性や利用方法についての内容を読み取らせる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter9 まとめ	・ Chapter9の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
12月	2学期の復習	2学期の復習	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	5
	共通テスト問題集	共通テスト対策としてリスニング、リーディングの問題演習を行い、問題形式に慣れさせる。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	5
1月	Chapter12 part 1 : Spark Joy-Tidy Up to Establish the Lifestyle You Want	・ 試験前に衝動的に片付けをしてしまう筆者の様子と、その片付けがもたらした結果を理解する。 ・ 多くの人がプレッシャーのかかる場面で衝動的に片付けをしてしまう理由を知る。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	5
	Chapter12 part 2 : Spark Joy-Tidy Up to Establish the Lifestyle You Want	・ 様々な専門家が提唱する片付けのルールを確認し、専門家の提唱する片付けのルールを学んだ後に筆者がどのような考え方を持つようになったのかを読み取る。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	Chapter12 part 3 : Spark Joy-Tidy Up to Establish the Lifestyle You Want	・ 片づけに関する筆者の主張と筆者が発見した新たな片付けの方法を確認する。 ・ 新たな片付けを発見する前と発見した後の筆者の片付け方を比較し、その違いを理解する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
2月	Chapter12 まとめ	・ Chapter12の復習をし、問題演習で理解を深める。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
	速読トレーニング	・ 130～230字程度の英文を時間内に読むことができる。 ・ 未習の単語にも対応できる力を身につける。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	7
3月	3学期の復習	3学期の復習	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	12

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：外国語 科目：英語演習Ⅱ 年間授業計画

教科：外国語 科目：英語演習Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年F組

教科担当者：小林理聖

使用教科書：（ ）

使用教材：（ 総合英語Evergreen, STARTING LINE 英語リスニング（いづな書店）、大学入試 英文法・語法問題 アップグレード（数研出版）、英語総合問題raise 3 SECOND EDITION, Active Listening 3, 英語総合問題 Seek next 5（第一学習社） ）

	指導内容	科目 英語演習Ⅱ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・raise 3 Lesson 7,8,9 ・アップグレード小テスト	・250～300語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・動名詞/不定詞/分詞について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・raise 3 Lesson 10 ・アップグレード小テスト	・250～300語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・時制について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・Active Listening 3	・音の連続や強勢など音声面の知識・技能を学習し、リスニング問題に慣れる。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
5月	・raise 3 Lesson 11 ・アップグレード小テスト	・250～300語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・助動詞、比較について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・raise 3 Lesson 12 ・アップグレード小テスト	・250～300語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・態、不定詞について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・Active Listening 3 ・アップグレード小テスト	・音の連続や強勢など音声面の知識・技能を学習し、リスニング問題に慣れる。 ・関係詞、疑問文について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
6月	・raise 3 Lesson 13 ・アップグレード小テスト	・250～300語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・前置詞について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・raise 3 Lesson 14 ・アップグレード小テスト	・250～300語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・仮定法について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・raise 3 Lesson 15 ・アップグレード小テスト	・250～300語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・接続詞について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・Active Listening 3 ・アップグレード小テスト	・音の連続や強勢など音声面の知識・技能を学習し、リスニング問題に慣れる。 ・否定、倒置等について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	4
7月	・1学期の復習	・1学期の復習をし、理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
8月				
9月	・Seek next 5 Lesson 7 ・アップグレード小テスト	・300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・動詞の語法について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・Seek next 5 Lesson 8 ・アップグレード小テスト	・300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・名詞、代名詞の語法について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・Seek next 5 Lesson 9 ・アップグレード小テスト	・300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・数量表現について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・STARTING LINE	・共通テストのリスニング形式に慣れる。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2

	指導内容	科目 英語演習Ⅱ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	・ Seek next 5 Lesson 10 ・ アップグレード小テスト	・ 300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・ 文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・ 形容詞、副詞の語法について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・ Seek next 5 Lesson 11 ・ アップグレード小テスト	・ 300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・ 文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・ 多義語について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・ Seek next 5 Lesson 12 ・ アップグレード小テスト	・ 300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・ 文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・ 重要語いについて的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・ STARTING LINE	・ 共通テストのリスニング形式に慣れる。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
11月	・ Seek next 5 Lesson 13 ・ アップグレード小テスト	・ 300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・ 文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・ 動詞の熟語について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・ Seek next 5 Lesson 14 ・ アップグレード小テスト	・ 300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・ 文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・ 動詞の熟語について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・ Seek next 5 Lesson 15 ・ アップグレード小テスト	・ 300～450語程度の英文を時間内に読み、内容理解する。 ・ 文法、構文、作文等について総合的に学習する。 ・ 前置詞の熟語について的小テストで理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
	・ STARTING LINE	・ 共通テストのリスニング形式に慣れる。	[関心・理解・表現・知識] ワークブック、発言、テスト	2
12月	・ 2学期の復習	・ 2学期の復習をし、理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
1月	1, 2学期の総復習	・ テキスト、過去問等の中で苦手分野や理解しきれていない部分を取り上げ、重点的に問題演習、解説等をする。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	2
	大学入試問題演習	・ 大学入試問題を解き内容理解をするとともに、重要単語や重要構文の確認をする。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4
2月	大学入試問題演習	・ 大学入試問題を解き内容理解をするとともに、重要単語や重要構文の確認をする。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	8
3月	・ 3学期の復習	・ 3学期の復習をし、理解度を確認する。	[関心・理解・表現・知識] ワークシート、発言	4

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：農業 科目：総合実習（Ⅱ年間授業計画）

教科：農業 科目：総合実習（単位数：2単位）

対象学年組：第3学年2組

教科担当者：石井 陽次

使用教科書：（実教出版 草花 ）

使用教材：（ ）

	指導内容	総合実習 科目（園芸利用の具体的な指導目標）	評価の観点・方法	配当 時数
4月	パッションフルーツ栽培	パッションフルーツの果樹としての特徴を理解する。	知 プリント 関・技 実習 技 実習	4
		パッションフルーツ苗の人工授粉作業ができる。		2
		パッションフルーツの日常管理作業ができる。		2
5月	花壇用草花の栽培	春まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種作業ができる。	関・技 実習 技 実習 技 実習	4
	パッションフルーツ栽培	パッションフルーツの日常管理作業ができる。		4
	観葉植物の管理	観葉植物の種類と特徴を理解し、株分け、植え替え作業ができる。		2
6月	花壇用草花の栽培	春まき一年草の箱まき苗、セルトレイ苗の鉢上げ作業ができる。	技 実習 関・技 実習 技 実習	4
	パッションフルーツ栽培	パッションフルーツの日常管理作業ができる。		4
	クリ栽培	クリの品種と特徴を理解し、追肥作業ができる。		2
7月	パッションフルーツ栽培	パッションフルーツの日常管理作業及び収穫ができる。	技 実習	2
8月				
9月	花壇用草花の栽培	秋まき一年草の種類と特徴を理解し、種子の大きさと発芽特性に応じて播種作業ができる。	関・技 実習 関・技 実習 技 実習	4
	花壇の管理	花がら取り、除草、追肥などの花壇管理に必要な作業を理解して、実際に作業ができる。		2
	パッションフルーツ栽培	パッションフルーツの日常管理作業及び収穫ができる。		4
10月	花壇用草花の栽培	秋まき一年草の箱まき苗、セルトレイ苗の鉢上げ作業ができる。	関・技 実習 関・技 プリント・実習	4
	草花の栄養繁殖法	栄養繁殖法について理解し、多肉植物を使った栄養繁殖法の作業ができる。		4
11月	花壇用草花の栽培	デザインに従い、秋まき一年草苗を使った花壇をつくることができる。	関・技 実習 技 実習 関・技 実習	4
	パッションフルーツ栽培	パッションフルーツの日常管理作業ができる。		2
	花壇の管理	花がら取り、除草、追肥などの花壇管理に必要な作業を理解して、実際に作業ができる。		4
12月	花壇の管理	花がら取り、除草、追肥などの花壇管理に必要な作業を理解して、実際に作業ができる。	関・技 実習	4
1月	園芸デザイン	園芸デザインと草花装飾の特徴を理解できる。	知 プリント 関・技 実習	4
	観葉植物の活用	温室内にある観葉植物の管理作業ができる。		4
2月				
3月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：農業 科目：園芸利用Ⅳ 年間授業計画

教科：農業 科目：園芸利用Ⅳ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 普通科 農業選択

教科担当者：中嶋 龍也

使用教科書：（ ）

使用教材：（実習資料）

	指導内容	科目 園芸利用Ⅳ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	○食品製造の意義について	諸奥品製造の意義について学び、食品製造を行う態度を身に着けることができる。		4
	○GAP、HACCPについて	GAPについて理解することができる。三宅高校で行っているGAPの取り組みを理解し、実践することができる。		2
	○イチゴの栽培管理	食品製造の原料となるイチゴの栽培技術、基礎的な知識を身に着ける。		4
	○製茶実習	茶葉の収穫を通して、チャの生育と栽培技術を身に着けることができる。		4
5月	○穀類の加工	穀類の種類とその特徴を知り、加工原理を理解する。穀類加工室の使い方を学ぶ。		2
	○クッキーの製造	クッキーの製造を通して、油脂のクリーミング性やショートニング性を理解することができる。		4
	○茶畑の管理	茶畑の除草を通して、チャノキの生育状況を観察しチャノキの特性を理解させる。		2
	○マドレーヌの製造	マドレーヌ製造を通してバターケーキ生地の製造方法を学ぶ。		4
6月	○紅茶の製造	○紅茶の製造を通して紅茶の製造原理を理解することができる。		2
7月				
8月				
9月	○イチゴジャムの製造	○ジャムの製造を通して、果実類の加工の製造原理を理解することができる。		2
	○ブルーベリージャムの製造			2
10月	○丸パンの製造	○丸パンの製造を通して小麦粉の加工特性を学ぶ、発酵パンの製造を通して微生物の作用を学ぶ		4
	○栄養素の種類と働き	○食品製造の基礎となる五大栄養素の働き、特性を理解する。		2
11月	○食品表示について	食品表示について学び正しく読み取る力を身に着けることができる。		2
	○デコレーションケーキの製造	○鶏卵の泡立て方法やクリームの絞り方、デコレーションの方法を理解することができる。製造するケーキのデザインを自ら考え実際に作ることができる。		4
12月	○デコレーションケーキの製造	スポンジの製造からクリームのデコレーションを行いデコレーションケーキ製造の技術を身に着けられる。		4
	○食品衛生について	食品衛生について学び、三宅高校農場での取り組みを理解できる。		2
1月	○栄養素の種類と働き	○5台栄養素のうち特にたんぱく質の働きについて理解し、食品製造におけるタンパク質の作用について理解できる。		2
	○シフォンケーキの製造	シフォンケーキ製造を通してメレンゲに利用される卵白特性について理解できる。		4
2月	○シュークリームの製造	○シュークリームの映像を通してでんぷんのアルファ化の原理を学ぶことができる。		4
	○和菓子（どら焼き）の製造	○饅頭の案の種類や製造方法の原理を学ぶことができる。		4
	○和菓子（まんじゅう）の製造	○まんじゅうの製造を通してでんぷんのアルファ化の原理を学ぶことができる。		4
3月	チャの栽培管理（追肥）	○チャの栽培特性を理解して、肥料を追肥することができる。		2

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：食品 年間授業計画

教科：家庭 科目：食品 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 普通科

教科担当者：若井 佐友里

使用教科書：()

使用教材：(ニュービジュアル家庭科 資料+成分表(実教出版))

	指導内容	科目 食品 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	科目の目標、授業内容の説明。	関 発言、ワークシート	2
	食中毒について	DVDを見て、食中毒の種類と対処法について理解する。	関・思・知 発言、ワークシート	2
	小麦粉実験	小麦粉のグルテンについて理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
5月	豆類実習	大豆の種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	豆類、米粉実習	豆類の種類を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
6月	豆類、小麦粉実習	小麦粉の種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	家庭や地域における食育推進活動	日本の行事食を調べ、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	2
	寒天、ゼラチン実習	寒天、ゼラチンの種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	でんぷん実習	でんぷんの種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	嗜好品の糖度実験	清涼飲料水の糖度を理解する。体にどのように影響をあたえるか理解する。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	2
7月	まとめ	学んだ知識を整理し、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	4
8月				
9月	手作りソース実習	ルウの種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	手作りソース実習	パスタの特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
10月	家庭や地域における食育推進活動	日本の水産加工食品を調べ、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	4
	乳、乳製品実習	乳、乳製品の種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
11月	家庭や地域における食育推進活動	日本の郷土食を調べ、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	4
	卵、野菜実習	卵の乳化性を理解する。野菜の種類と特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	果物実習	果物の種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
12月	まとめ	学んだ知識を整理し、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	4

	指導内容	科目 食品 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	卵実習	卵の起泡性を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	油脂類実習	油脂類の種類とその特徴を理解する。実習を通して加工品の製造方法を理解する。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	まとめ	学んだ知識を整理し、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	2
2 月				
3 月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：ファッション造形 年間授業計画

教科：家庭 科目：ファッション造形 単位数：2単位

対象学年組：第3学年K組

教科担当者：豊田睦月 南萌香

使用教科書：（ファッション造形（実教出版））

使用教材：（ ）

	指導内容	科目ファッション造形の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	1年間の予定を確認する	関 発言、観察	2
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	10
5月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	14
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	18
6月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	4
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	16
7月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	16
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	10
8月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
9月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
10月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
11月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
12月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
1月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
2月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
3月	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12
	被服製作	生徒自身が選んだ被服を製作する。	関、技 観察、作品	12

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：フードデザ・年間授業計画

教科：家庭 科目：フードデザ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 家政科

教科担当者：若井 佐友里

使用教科書：(フードデザイン (教育図書))

使用教材：()

	指導内容	科目 フードデザイン の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	科目の目標 授業内容、進め方、評価方法について理解する。	関 発言、ワークシート	2
	日常食の調理	食物調理技術検定3級レベルの知識と実技を学ぶ。	関・思・技・知 観察、ワークシート	6
5月	日常食の調理	食物調理技術検定3級レベルの知識と実技を学ぶ。	関・思・技・知 観察、ワークシート	6
6月	日常食の調理	食物調理技術検定3級レベルの知識と実技を学ぶ。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	日常食の献立作成と調理	日常食の献立作成に意欲的に取り組むことができる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	8
	日常食の献立作成と調理	日常食の献立作成に意欲的に取り組むことができる。 献立を調理することができる。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
7月	まとめ	学んだ知識を整理し、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	4
8月				
9月	日常食の献立作成と調理	食物調理技術検定2級レベルの知識と実技を学ぶ。 日常食の献立作成に意欲的に取り組むことができる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	6
10月	日常食の献立作成と調理	日常食の献立作成に意欲的に取り組むことができる。 献立を調理することができる。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	日常食の調理	日常食の実習に意欲的に取り組むことができる。	関・思・技・知 観察、ワークシート	6
11月	日常食の調理	日常食の実習に意欲的に取り組むことができる。	関・思・技・知 観察、ワークシート	6
	家庭や地域における食育推進活動	日本の行事食を調べ、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	2
12月	家庭や地域における食育推進活動	行事食の実習に意欲的に取り組むことができる。 日本の行事食を調理することができる。	関・思・技・知 観察、ワークシート	2
	まとめ	学んだ知識を整理し、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	4
1月	日常食の調理	日常食の実習に意欲的に取り組むことができる。	関・思・技・知 観察、ワークシート	4
	まとめ	学んだ知識を整理し、まとめる。	関・思・知 観察、発言、ワークシート	2
2月				
3月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：課題研究 年間授業計画

教科：家庭 科目：課題研究 単位数：4単位

対象学年組：第3学年 家政科

教科担当者：若井 佐友里

使用教科書：()

使用教材：()

	指導内容	科目 課題研究 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	科目の目標 授業内容、進め方、評価方法について理解する。	関・思 発言・観察・プリント	1
	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	11
5月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	12
6月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	18
7月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	2
	レポートのまとめ	行ってきた調査研究をレポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	4
8月				
9月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	10
10月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	14
11月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	16
12月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	2
	レポートのまとめ	行ってきた調査研究をレポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・プリント	4
1月	個人での調査研究	各自 主体的に個々でテーマを設定し、調査、研究、作品製作、実習を組み合わせ、レポートにまとめる。	関・思・技・知 観察・レポート・作品	2
	発表リハーサル	準備した発表を実施することが出来る。	関・思・技・知 観察・プリント	4
	発表	準備した発表を実施することが出来る。他の生徒の発表を聞いて、内容を理解し、自分の考えをまとめることが出来る。	関・思・技・知 観察・プリント	2
	まとめ	1年間の学習の成果を振り返り、まとめさせる。	関・思・技・知 観察・プリント	2
2月				
3月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：子どもの発達 年間授業計画

教科：家庭 科目：子どもの発達 単位数：2単位

対象学年組：第3学年家政科

教科担当者：手塚博生

使用教科書：(子どもの発達と保育)

使用教材：()

	指導内容	科目 子どもの発達と保育 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1 子どもの発達と特徴 乳幼児期の発達と意義	・子どもに関心を持ち、乳幼児期の意義について理解する。 ・子どもの発達と保育環境のかかわりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める。	・行動観察 ・ワークシート	6
5月	発達と保育環境 ・発達と保育環境のかかわり ・保育環境をととのえる	・保育環境のかかわりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める。 ・児童観、発達観の変遷について理解する	・行動観察 ワークシート	8
6月	2 子供の発達の過程 ・子供の発育 ・胎児の発育、発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理的特徴 ・発育の評価	生命の誕生について関心を持ちにゅうようじの身体的特徴と生理的特徴について知識を習得する。 ・子どもの精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上大切な時期であることを学ぶ。	・行動観察 ・ワークシート	8
7月	「子どもの発達と特性」「子どもの発達の過程」について復習する	振り返りシートで確認作業を行う。	・行動観察 ・定期考査 ・ワークシート	2
8月				
9月	3 章子どもの保育 ○保育の意義と重要性 ・保育とは ・人減形成と保育	・保育の意義と重要性に関心を持つ。 ・家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を知り、子どもの発達に両方が必要であることを学ぶ。	・行動観察 ・ワークシート	8
10月	○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育 ○保育の方法 ・保育者の役割とは ・指導のポイント	・保育環境の変化を確認し、今後の保育環境を考る ・保育実習を通して子どもと適切にかかわる技能を身につける	・行動観察 ・ワークシート	8
11月	4章 子どもの生活 ○生活と養護 ・生活と健康 ・栄養と食事 ・食習慣の形成 ・衣生活と育児用品	・子どもの生活に関心を持ち、乳幼児の生活の特徴から健康を保持増進し順調な成長を促すうえで、発育や発達に応じた養護が必要な事を理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について身体的特徴をふまえて安全で快適にせいかつするために何が必要か選択できる。	・行動観察 ・ワークシート	8
12月	○子どもの遊び ・生活と遊び ・遊びの援助	・子どもの遊びの意義について考える。 ・子どもの発達に合わせた玩具を選び使用する。 ・遊びにおける保育者からの働きかけを考える。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査	6
1月	○生活習慣の形成 ・生活習慣の意義 ・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣	・乳幼児期に身につけるべき生活習慣と親の影響について考える。 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣について考える。	・行動観察 ・ワークシート	4
2月				
3月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：ファッション:年間授業計画

教科：家庭 科目：ファッション 単位数：2単位

対象学年組：第3学年選択

教科担当者：豊田睦月 南萌香

使用教科書：（ファッションデザイン（実教出版））

使用教材：（ ）

	指導内容	科目ファッションデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ファッションデザインの発想と表現 ファッションマップによる表現	ファッションデザインに関心を持ち、自分のイメージをファッションマップに表現する。 実習に意欲的に取り組み、作品にまとめることができる。	関・技 作品 授業観察	4
	ファッション画と色彩	色調、配色の基礎、色彩の持つイメージを知る。 ファッションデザイン画に表現するために必要な彩色方法を知る。	知 ワークシート 授業観察	2
5月	ファッションデザインの発想と表現 ファッションマップによる表現	ファッションデザインに関心を持ち、自分のイメージをファッションマップに表現する。 実習に意欲的に取り組み、作品にまとめることができる。	関・技 作品 授業観察	6
6月	ファッションデザインの目的と発想 デザイン画による表現	デザインをする目的や、デザインのために必要な条件を知る。 各自が創造的に表現できる。	知・技 ワークシート 授業観察	8
7月	ファッションデザインの目的と発想 デザイン画による表現	デザインをする目的や、デザインのために必要な条件を知る。 各自が創造的に表現できる。	知・技 ワークシート 授業観察	4
8月				
9月	ファッションデザインの意味 ファッションデザインとは何か	流行について、根源的な人間の心理的欲求とのかかわりや産業界とのかかわりを知る。	知 ワークシート 授業観察	1
	ファッション画による表現 材料・用具	ファッションデザイン画演習に必要な用具の名称・適切な使用方法を知る。	知 ワークシート 授業観察	1
	ファッション画による表現 「プロポーション」	ファッションデザイン画の表現に必要な、基本のプロポーション、変化のポーズについて知る。	知 ワークシート 授業観察	1
	ファッション画による表現 細部の描き方	ファッションデザイン画の表現に必要な、頭部、手、脚などの細部の描き方について知り、描くことができる。	知・技 ワークシート 授業観察	1
	ファッション画による表現 テクスチャと柄、ひだの表現	ファッションデザイン画の表現に必要な、基本的な着装表現、ディテールの描き方、素材表現について知り、描くことができる。	知・技 ワークシート 授業観察	2
10月	ファッション画による表現 スタイル画	ファッションデザインに関心を持ち、自分のイメージを着装画としてスタイル画に表現する。 実習に意欲的に取り組み、さまざまな手法を活用して描くことができる。	関・技 作品 授業観察	8
11月	ファッション画による表現 ハンガーイラスト	ファッションデザインに関心を持ち、自分のイメージをハンガーイラストに表現する。 実習に意欲的に取り組み、さまざまな手法を活用して描くことができる。	関・技 作品 授業観察	8
12月	ファッション画による表現 ハンガーイラスト	ファッションデザインに関心を持ち、自分のイメージをハンガーイラストに表現する。 実習に意欲的に取り組み、さまざまな手法を活用して描くことができる。	関・技 作品 授業観察	6
1月	服飾史 調べ学習	西洋の服飾史を各自が調べ、レポートにまとめる。また、レポートを基に発表を行う。	知・思・技 レポート 授業観察	6
2月	服飾史 調べ学習	西洋の服飾史を各自が調べ、レポートにまとめる。また、レポートを基に発表を行う。	知・思・技 レポート 授業観察	6
3月	服飾史 調べ学習	西洋の服飾史を各自が調べ、レポートにまとめる。また、レポートを基に発表を行う。	知・思・技 レポート 授業観察	6

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：ファッション:年間授業計画

教科：家庭 科目：ファッション 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 選択科目

教科担当者：（豊田睦月：◎）（南萌香：◎）

使用教科書：（ファッション造形基礎（実教出版））

使用教材：（ ）

	指導内容	科目 ファッション造形基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション デザイン集め	・1年間の予定を確認する ・ハーフパンツ製作にむけて、雑誌等からさまざまなデザインを集め・分類する	関 ワークシート 授業観察 関・技	2
	採寸 材料を知る	・被服作品の製作に必要な身体採寸のついて理解し、適切な方法で採寸ができる。 ・布の裏表、縦横が判別できる ・生地によって販売時の幅が異なることを知る ・布地に合った色の糸が選べる	ワークシート 授業観察 関・技	2
	購入計画	・何を、どのくらい購入するのか がわかる ・おおまかなデザイン案がイメージできている	関・技 作品・授業観察	2
5月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	6
6月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	8
7月	定期テスト	・これまでの内容を理解したうえで、自分の考えを述べるができる ・ミシンの糸掛けなどの基本的なスキルが身についている	知・思 考査	1
	テスト返却・解説	・テストでできなかった点において、復習し、できるようになる	知・思 考査、授業観察	1
	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	2
8月				
9月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	6
10月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	6
11月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	10
12月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	2
	定期テスト	・これまでの内容を理解したうえで、自分の考えを述べることができる ・時間内に指示通りの作品を仕上げられる	知・思 考査	1
	テスト返却・解説	・テストでできなかった点において、復習し、できるようになる	知・思 考査、授業観察	1
	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	2

	指導内容	科目 ファッション造形基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	6
2 月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	6
3 月	「ハーフパンツの製作」	・ハーフパンツの製作に意欲的に取り組み、計画的で能率的な作業ができる。 被服製作の基礎を習得し、丁寧に製作できる。	関・技 作品・授業観察	6

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：フードデザ・年間授業計画

教科：家庭 科目：フードデザ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者：手塚博生

使用教科書：（ フードデザイン ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目 フードデザイン の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・オリエンテーション ・家庭や地域における食育推進活動	・調理室の使い方を学ぶ ・レポートの書き方を理解する ・日本の行事食を調べまとめる。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	6
5月	・食事の意義と役割 調理実習の理論	・食事の意義と役割について理解する。 ・実習の説明を通して栄養、食品、料理形式と献立、調理理論を理解する。また、実習をととして日常食の調理に必要な知識、技術を習得する。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	8
6月	・調理実習と理論	・実習の説明を通して栄養、食品、料理形式と献立、調理理論を理解する。また、実習をととして日常食の調理に必要な知識、技術を習得する。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	8
7月	・調理実習の理論の復習	調理実習の理論の復習	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	2
8月				
9月	・調理実習と理論	・実習の説明を通して栄養、食品、料理形式と献立、調理理論を理解する。また、実習をととして日常食の調理に必要な知識、技術を習得する。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	2
10月	・調理実習と理論	・実習の説明を通して栄養、食品、料理形式と献立、調理理論を理解する。また、実習をととして日常食の調理に必要な知識、技術を習得する。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	8
11月	・調理実習と理論	・実習の説明を通して栄養、食品、料理形式と献立、調理理論を理解する。また、実習をととして日常食の調理に必要な知識、技術を習得する。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	8
12月				
1月	・調理実習と理論	・実習の説明を通して栄養、食品、料理形式と献立、調理理論を理解する。また、実習をととして日常食の調理に必要な知識、技術を習得する。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート	2
2月				
3月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：子どもの発達と保育 年間授業計画

教科：家庭 科目：子どもの発達と保育 単位数：2単位

対象学年組：第3学年選択

教科担当者：手塚博生

使用教科書：（子どもの発達と保育）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目 子どもの発達と保育 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1 子どもの発達と特徴 乳幼児期の発達と意義	・子どもに関心を持ち、乳幼児期の意義について理解する。 ・子どもの発達と保育環境のかかわりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める。	・行動観察 ・ワークシート	6
5月	発達と保育環境 ・発達と保育環境のかかわり ・保育環境をととのえる	・保育環境のかかわりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める。 ・児童観、発達観の変遷について理解する	・行動観察 ワークシート	8
6月	2 子供の発達の過程 ・子供の発育 ・胎児の発育、発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理的特徴 ・発育の評価	生命の誕生について関心を持ち、幼少期の身体的特徴と生理的特徴について知識を習得する。 ・子どもの精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上大切な時期であることを学ぶ。	・行動観察 ・ワークシート	8
7月	「子どもの発達と特性」「子どもの発達の過程」について復習する	振り返りシートで確認作業を行う。	・行動観察 ・定期考査 ・ワークシート	2
8月				
9月	3 章子どもの保育 ○保育の意義と重要性 ・保育とは ・人減形成と保育	・保育の意義と重要性に関心を持つ。 ・家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を知り、子どもの発達に両方が必要であることを学ぶ。	・行動観察 ・ワークシート	8
10月	○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育 ○保育の方法 ・保育者の役割とは ・指導のポイント	・保育環境の変化を確認し、今後の保育環境を ・保育実習を通して子どもと適切にかかわる技能を身につける	・行動観察 ・ワークシート	8
11月	4章 子どもの生活 ○生活と養護 ・生活と健康 ・栄養と食事 ・食習慣の形成 ・衣生活と育児用品	・子どもの生活に関心を持ち、乳幼児の生活の特徴から健康を保持増進し順調な成長を促すうえで、発育や発達に応じた養護が必要な事を理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について身体的特徴をふまえて安全で快適にせいかつするために何が必要か選択できる。	・行動観察 ・ワークシート	8
12月	○子どもの遊び ・生活と遊び ・遊びの援助	・子どもの遊びの意義について考える。 ・子どもの発達に合わせた玩具を選び使用する。 ・遊びにおける保育者からの働きかけを考える。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査	6
1月	○生活習慣の形成 ・生活習慣の意義 ・基本的な生活習慣 ・社会的な生活習慣	・乳幼児期に身につけるべき生活習慣と親の影響について考える。 ・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣について考える。	・行動観察 ・ワークシート	4
2月				
3月				

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度 教科：家庭 科目：服飾手芸 年間授業計画

教科：家庭 科目：服飾手芸 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 選択科目

教科担当者：（ 豊田睦月 : ⊙ ）（ 南萌香 : ⊙ ）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目 服飾手芸 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション		関 発言、観察	1
	ハワイアンキルト	ハワイアンキルトの基本的技法（アップリケ・キルティング）を学ぶ。 ピンクッションの製作	関、技 観察、作品	5
5月	刺繍	私物のハンカチや洋服に、刺繍を施す。	関、技 観察、作品	8
6月	刺繍	私物のハンカチや洋服に、刺繍を施す。	関、技 観察、作品	4
	タッチングレース	タッチングレースの基礎的技法を用いてモチーフを作り、ヘアアクセサリを作る。	関、技 観察、作品	4
7月	タッチングレース	タッチングレースの基礎的技法を用いてモチーフを作り、ヘアアクセサリを作る。	関、技 観察、作品	2
8月				
9月	手芸小物の製作	自分の日常を彩るような手芸小物を、各自で計画・製作する	関、技 観察、作品	8
10月	手芸小物の製作	自分の日常を彩るような手芸小物を、各自で計画・製作する	関、技 観察、作品	6
11月	手芸小物の製作	自分の日常を彩るような手芸小物を、各自で計画・製作する	関、技 観察、作品	8
12月	手芸小物の製作	自分の日常を彩るような手芸小物を、各自で計画・製作する	関、技 観察、作品	6
1月	手芸小物の製作	自分の日常を彩るような手芸小物を、各自で計画・製作する	関、技 観察、作品	8
2月	手芸小物の製作	自分の日常を彩るような手芸小物を、各自で計画・製作する	関、技 観察、作品	4
3月	手芸小物の製作	自分の日常を彩るような手芸小物を、各自で計画・製作する	関、技 観察、作品	6